

いわきの

SANKAKUSAN

さんかくさん



～いわきの“さんかくさん”とは？～
いわきで男女共同参画を推進する活動をしている人。



緑川 琴江
(みどりかわ ことえ) さん
いわき市アレルギーっ子交流会
もぐのび 代表

Q&A

Q 活動を始めたきっかけは？

A 東日本大震災がきっかけです。アレルギーがある1歳半の子どもがいたのですが、当時はアレルギー自体が一般的ではなく、安心してSOSを出すことができませんでした。

Q どのような活動をしているのか？

A 子どもたちに自分のアレルギーを理解してもらうことと、保護者の不安を吐き出す場づくりをしています。2～3歳の子たちにも食べ物をもたらす前は保護者に見せるように伝えるなど、子どもたちに自分の身を守ることを教えています。保護者にも病院の先生への聞き方を共有することで、安心して医療につながれるようにしています。コロナ禍になる前は医師に依頼し救命講習なども行っていました。

Q 周囲のアレルギーの理解が足りず困ってしまうことは？

A アレルギーがあると知らないと、異変のサインを見逃してしまうことがあります。そのため身の回りにどれだけ味方をつくれるかが大事だと思っています。保護者から学校の先生へ子どものアレルギーの取説を渡したり、子どもたち同士で知ってもらったりしています。

Q アレルギーっ子が被災した時の対応は？

A SOSを出していいという空気を出すのが大事。みんなが善意で行動している中では「こんな時にアレルギーの話を出すなんて」と保護者は思うことが多いです。安心して相談していいというサインがあったらうれしいです。

Q 活動してきてよかったこと。今後について

A アレルギーがあるものは、治療を受けて少しずつ食べられるようになっていく可能性もあります。子どもたちが食べられるものが増えていくこと、自分のことを伝える練習が小さいころからできるのは良いなと思っています。いわきは関東に比べて専門医が少なく、知識の啓発は大変です。地域のなかでアレルギーについて知る機会をたくさん作っていききたいです。



Instagram



facebook

私のおすすめの一冊



ほむほむ先生の小児アレルギー教室

堀向健太 著 青鹿ウウ 画 丸善出版

アレルギー専門医として活躍している先生の本。見やすく、わかりやすいです。知りたいところだけ見ることができるのも便利です。

いわきのさんかくさん 募集

男女共同参画センターでは、「いわきのさんかくさん」を募集しています。
自薦・他薦は問いません。
※詳しくはセンターまで

wing

いわき市男女共同参画情報紙ーウイングー
vol.55 2021年10月 発行

編集長：加藤 藤子
編集委員：小林美智子 三戸花菜子
鈴木かおり 芳賀 順子



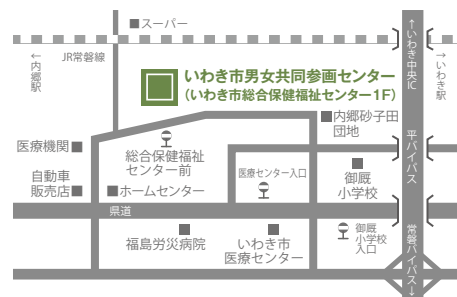
あなたもwingに
参加してみませんか。
ご意見・ご感想を
ぜひお寄せください。
次回3月発行です。

▲今号の協力者
アルプスアルバイン株式会社
HANAプロジェクトメンバー

表紙写真：芳賀順子
撮影場所：いわき市フラワーセンター

発行：いわき市 市民協働部 男女共同参画センター
〒973-8408いわき市内郷高坂町四方木田191番地
tel.0246-27-8694 fax.0246-27-8641
E-mail: danjokyodosankaku@city.iwaki.lg.jp

いわき市男女共同参画センターでは、男女共同参画社会についての啓発、人材育成、情報収集・提供、活動・交流支援を行っています。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。